

包丁の出刃に噛みつく大南瓜 笠 政人

よく実の締まった南瓜は、包丁を一度銜えたら金輪際離さない。力自慢の大男でも、包丁を取られたら赤子も同然。包丁に噛みつく南瓜はよく熟れていて喜ぶべきである。南瓜の実態を巧く詠まれた。

嫁御古り播粉木も古りとろろ汁 田中早苗

とろろ汁や麦とろは、市井風流の食べ物で、それだけで俳諧風の味といえる。嫁御もいつの間にか年を取り、播粉木もめっきり擦り切れた。古嫁御にとろろ汁を作らせたなら右に出る者は居ない。古女房と播粉木、とろろ汁の取合せが絶妙である。